

中央区将来人口の見通しについて(令和8(2026)年4月推計)

👉 令和8年(2026)4月の住民基本台帳の人口を基に、直近の人口動向を踏まえ、新たに今後10年間の人口の推計を行った。

1 推計条件

(1)推計期間

令和9(2027)年から令和18(2036)年までの10年間

(2)推計方法

- ① 0歳児数：地域別子ども女性比により算出
- ② 生残率：年齢別・男女別。国立社会保障・人口問題研究所の数値（令和5年12月数値更新）
- ③ 移動率：開発分を除いた転出入による人口変動割合（過去5年平均）
- ④ 開発による増加分：50戸以上の住宅開発により見込まれる転入者数を加算
- ⑤ 外国人人口：過去5年の実績値等に基づき推計値を算出

2 推計結果

本区人口は、自然増減、社会増減などの傾向が今後も続いた場合、令和9(2027)年度内に20万人を突破する見込みである。

※推計結果の詳細は別紙1のとおり

※令和7(2025)年4月推計との比較は別紙2のとおり

3 公開方法

区ホームページで公表する（別紙1のみ）

中央区将来人口の見通しについて 令和8(2026)年4月推計

別紙 1

1 推計条件

ア 推計期間

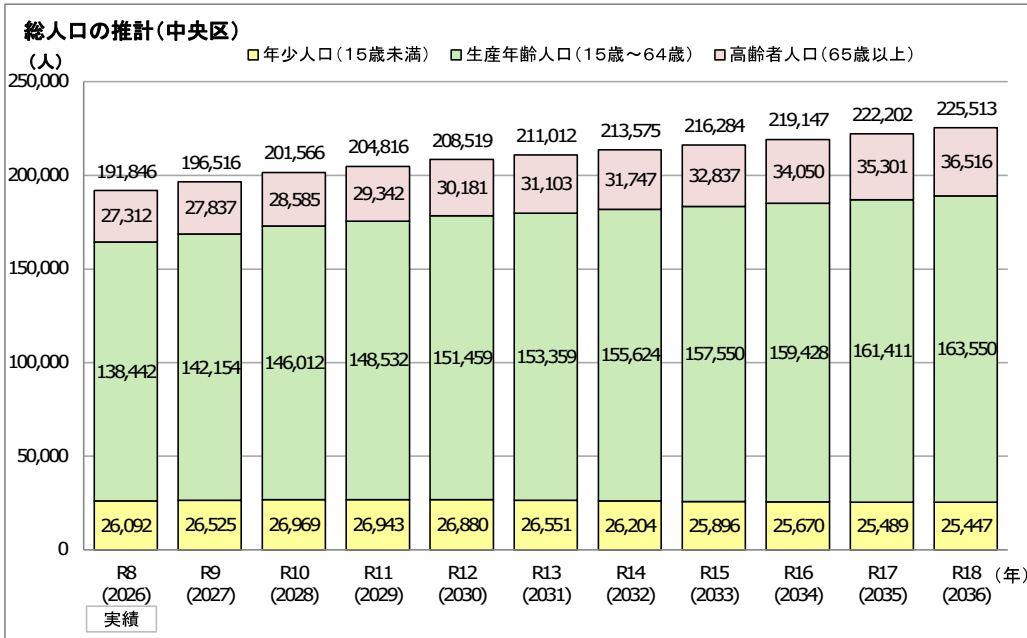
令和9(2027)年から令和18(2036)年までの10年間

イ 推計方法

令和8(2026)年4月1日の住民基本台帳人口を基準とし、以下を基に今後10年間の人口を推計

- ・0歳児数：地域別子ども女性比により算出
- ・生残率：年齢別・男女別。国立社会保障・人口問題研究所の数値。(R5.12数値更新)
- ・移動率：開発分を除いた転出入による人口変動割合(過去5年平均)
- ・開発による増加分：50戸以上の住宅開発により見込まれる転入者数を加算
- ・外国人人口：過去5年の実績値等に基づき推計値を算出

2 推計結果



<今後10年間の中央区人口>

(各年4月1日、単位：人)

	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
中央区人口	191,846	196,516	201,566	204,816	208,519	211,012	213,575	216,284	219,147	222,202	225,513
うち外国人人口	13,671	15,105	16,538	17,972	19,405	20,839	22,272	23,706	25,139	26,573	28,006

本区人口は、自然増減、社会増減などの傾向が今後も続いた場合、令和9(2027)年度内に20万人を突破する見込みである。

3 地域別・年齢区分別人口

<今後10年間の地域別人口>

(各年4月1日、単位：人)

		R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
京 橋	人 口	43,309	43,653	44,025	44,550	45,043	45,594	46,187	46,889	47,645	48,475	49,439
	構成比	22.6%	22.2%	21.8%	21.8%	21.6%	21.6%	21.6%	21.7%	21.7%	21.8%	21.9%
日本橋	人 口	56,891	57,779	58,601	59,690	60,579	61,764	63,033	64,318	65,648	67,107	68,738
	構成比	29.7%	29.4%	29.1%	29.1%	29.1%	29.3%	29.5%	29.7%	30.0%	30.2%	30.5%
月 島	人 口	91,646	95,085	98,939	100,577	102,897	103,654	104,355	105,077	105,854	106,620	107,336
	構成比	47.8%	48.4%	49.1%	49.1%	49.3%	49.1%	48.9%	48.6%	48.3%	48.0%	47.6%

<今後10年間の年齢区分別人口>

(各年4月1日、単位：人)

		R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
年少人口 (15歳未満)	人 口	26,092	26,525	26,969	26,943	26,880	26,551	26,204	25,896	25,670	25,489	25,447
	構成比	13.6%	13.5%	13.4%	13.2%	12.9%	12.6%	12.3%	12.0%	11.7%	11.5%	11.3%
生産年齢 人口 (15～64歳)	人 口	138,442	142,154	146,012	148,532	151,459	153,359	155,624	157,550	159,428	161,411	163,550
	構成比	72.2%	72.3%	72.4%	72.5%	72.6%	72.7%	72.9%	72.8%	72.7%	72.6%	72.5%
高齢者人口 (65歳以上)	人 口	27,312	27,837	28,585	29,342	30,181	31,103	31,747	32,837	34,050	35,301	36,516
	構成比	14.2%	14.2%	14.2%	14.3%	14.5%	14.7%	14.9%	15.2%	15.5%	15.9%	16.2%

4 今後10年間の0歳児数見込み

(各年4月1日、単位：人)

	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
中央区0歳児数	1,874	1,934	1,984	1,957	1,995	1,973	1,989	2,016	2,048	2,094	2,143
京 橋 地域	351	384	384	384	386	387	392	399	407	419	431
日本橋 地域	549	559	563	570	573	581	592	610	626	650	676
月 島 地域	974	991	1,037	1,002	1,036	1,005	1,004	1,007	1,015	1,026	1,036

※各表の地域別ならびに年齢区分別人口は小数点第1位を四捨五入しているため、各表表示上は、区全体の合計値と合致しない場合がある。
※各表の構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計数値が100%とならない場合がある。

令和 7 (2025) 年 4 月推計と令和 8 (2026) 年 4 月推計との比較

①令和8年4月1日人口について

本区の令和8年4月1日時点の住民基本台帳における人口総数は191,846人であり、令和7年4月に推計した人口総数192,345人と比較すると、実績はマイナス499人、対推計比は約99.74パーセントであった。

○地域別人口

(令和8年4月1日、単位:人)

	A (実績値)	B (推計値)	差 (A-B)
京橋地域	43,309	44,007	-698
日本橋地域	56,891	57,343	-452
月島地域	91,646	90,994	652
計	191,846	192,345	-499

○年齢区分別人口

(令和8年4月1日、単位:人)

	A (実績値)	B (推計値)	差 (A-B)
年少人口 (0-14歳)	26,092	26,129	-37
生産年齢人口 (15-64歳)	138,442	139,175	-733
高齢者人口 (65歳以上)	27,312	27,041	271
計	191,846	192,345	-499

【令和7年4月推計値と令和8年4月1日実績値との比較における特徴】

- ・移動率（開発分除く）の低下
- ・開発による人口の増加
- ・外国人人口の減少

②令和9年4月1日以降の推計値について

推計値の比較は下表のとおりである。

○人口推計比較

(各年4月1日、単位:人)

	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
A 令和8年 4月推計	—	191,846 (実績)	196,516	201,566	204,816	208,519	211,012	213,575	216,284	219,147	222,202	225,513
B 令和7年 4月推計	188,694 (実績)	192,345	196,937	201,279	205,255	208,821	211,420	214,132	217,025	220,091	223,368	—
増減数	C (A-B)	-499	-421	287	-439	-302	-408	-557	-741	-944	-1,166	—
増減比	(C/B)	-0.3%	-0.2%	0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.3%	-0.4%	-0.5%	—

【令和7年4月推計と令和8年4月推計との比較における特徴】

- ・移動率（開発分除く）の低下
- ・子ども女性比の低下
- ・最新の開発動向の反映